

授業科目 ユニバーサルデザイン

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	義肢
大鍋 寿一、関根 千佳 松本 明、森山 政与志 他		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【概要・一般目標：GI0】 共用品、バリアフリー・デザインおよびユニバーサルデザインが出てきた背景を理解し、高齢者・障害者に配慮した設計手法であるガイド71の基本概念を学ぶ。「ユニバーサルデザインとは何か」を理解し、その基本概念の応用について学ぶ。 建築と情報の分野のユニバーサルデザイン、ユニバーサルデザインの適用とその事例について学び、適用できる力をつける。 演習を行う。専門用語について英語を学ぶ。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 共用品、バリアフリー・デザインおよびユニバーサルデザインが出てきた背景を理解する。 2. ユニバーサルデザインとは何かを習得する。 3. 情報のユニバーサルデザイン、ユビキタス情報社会とユニバーサルデザインを理解する。 4. 建築ならびに住宅改修におけるユニバーサルデザインを理解する。 5. 社会復帰とユニバーサルデザインを理解する。 6. 専門用語について英語を習得する。 7. ユニバーサルデザイン実技を習得する。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	UDの背景とGuide71			1,6	講義と質疑応答
2	建築におけるユニバーサルデザイン			2,6	講義と質疑応答
3	住宅改修におけるユニバーサルデザイン			3,6	講義と質疑応答
4	社会復帰とユニバーサルデザイン			3,6	講義と質疑応答
5	ユニバーサルデザインとは何か			4,6	講義と質疑応答
6	情報のユニバーサルデザイン			4,6	講義と質疑応答
7	ユビキタス情報社会とユニバーサルデザイン			5,6	講義と質疑応答
8	ユニバーサルデザインの本質と構築を邪魔するもの			6,7	講義と質疑応答
9	特性を理解する重要性和構築の手法			6,7	講義と質疑応答
10	演習：：地域等に見受けられる現状からユニバーサルデザインを考える(全体)			6,7	講義と質疑応答
11	演習：テーマとニーズの設定(グループまたは個人)			6,7	講義と質疑応答
12	演習：構築のための手法の確立(グループまたは個人)			6,7	講義と質疑応答
13	演習：まとめと課題(グループまたは個人)			6,7	講義と質疑応答
14	演習：発表と総評			6,7	講義と質疑応答
15	試験			6,7	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		プリント、板書、ビデオ			
参考書		スローなユビキタスライフ Introduction To Rehabilitation Engineering and Assistive Technology	関根千佳 R. Cooper、H. Ohnabe、 D. A. Hobson	地湧社 Taylor and Francis Press	2005・1,200円 2006
その他の資料					
【評価方法】 試験結果に出席状況や授業態度を考慮して総合的に評価する。			【履修上の留意点】 問題解決能力だけでなく、課題発見能力にも力をいれるので、積極的に質疑応答に参加すること。		